

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	60	外出や外にでる機会を多くしたい。車椅子の利用者様が増えている現状で、みなさんを平等に外出することが困難であり、また外出する車が不足している。	月に一度でも季節を感じられるように、楽しみが持てるように外に出る。	全体での外出は困難であるため、個別や小グループでの外出を試みる。また、年に数回は全体での外出ができるよう、法人の系列の施設の車を借り、出かけてたい。	6ヶ月
2	65	地域への呼びかけを行ない運営推進会議やクリスマス会など、外部の方を招き行っているが、なかなか輪が広がっていかない。オレンジカフェの開催を通じて	地域の方に参加していただくだけでなく、地域の行事にも参加していきたい。	オレンジカフェの開催を通じて地域との輪を広げ、カフェ以外でも交流を図る。小学生などの慰問の受け入れをしているので、小学校側とお話をして、こちらから小学校行事に参加できないか話をしていきたい。	12ヶ月
3	66	身体的に重度化した利用者様が増えている中で、介助量が増えており、身体的に辛くなっている。そんな中職員の負担が軽減できるような事を見つけていく。	身体的にも精神的にもゆとりが持てるような現場作り。	全体会議や全体研修を通じて身体介助の見直し、介助の技法の勉強会を行なう。また、悩みや不満を抱え込まないように話し合える時間の提供、心理的研修を設ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。